

知っておきたい



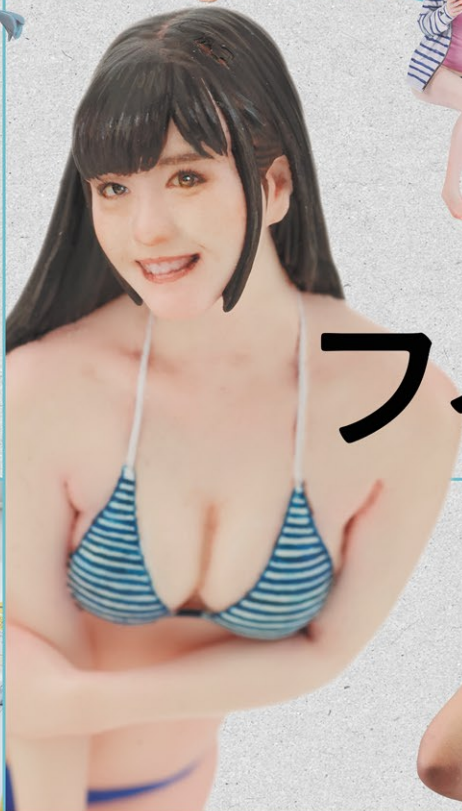
Armour
Modelling



Essential
knowledge

女性 フィギュアの

and skills
of creating



Scale Female figure.

はじめかた

2



知っておきたい
女性
フィギュアの
はじめかた

2



Essential
knowledge
and skills of
creating
Scale
Female figure.

はじめに

女性フィギュアの世界は広い。塗る、コレクションする、鑑賞する。様々な楽しみがある。ひと口に女性フィギュアと言っても、多様な方向性がある。2次元的アプローチで塗られたもの、リアル志向で塗られたものなどなど……。本書では後者のリアル志向なものを「リアル女性フィギュア」と呼ぶことにしよう。多種多様な楽しみがある女性フィギュアという趣味を始めるにあたって、誰でも試せるような塗り方から、そうそうマネがむずかしい超絶作例までを網羅した本ができ上がった。それが本書である。

さて、元々戦車模型の雑誌である『月刊アーマーモデリング』がなぜリアル女性フィギュアの特集をし、本書のような単行本も出しているのか。理由は様々あるが、そのひとつに「戦車モデラーはいちばんフィギュアを塗っているから」というのがある。プラモデルの戦車に必須ともいえるフィギュアの存在。普段からフィギュアを塗っている戦車モデラーとリアル女性フィギュアの親和性は非常に高い。それ故、戦車模型専門誌である『月刊アーマーモデリング』の編集部が本書の編集も担当しているのだ。

ところで、本書の前巻となる『知って

おきたい女性フィギュアのはじめかた』が2019年12月に発行されてからというもの、リアル女性フィギュアペインターは増えたのだろうか。編集部としては少し増えたのではないだろうかと考えている。リアル女性フィギュアを取り巻く環境は近年急激に進歩し、製品の種類も増え、商品としてのクオリティもアップしているのだ。その理由は(きっと)売れているから。その供給の分、需要も増えたと考えるのは自然なことだろう。塗料をはじめとするマテリアルもいいものがガンガン増えてきて、塗りやすい環境になってきたと言える。そういった背景も後押しして、リアル女性フィギュアを手取る人は増えているのだ。ただどみんながみんなフィギュアペイントに挑戦しているとは限らない。色々理由はある。「むずかしそうだから」「うまくいきそうにないから」「敷居が高そうだから」と尻込みしてしまう。そんなあなたに手にとって読んで欲しいのが本書なのである。

では、リアル女性フィギュアを塗る上で、必要なものはなんだろう。フィギュア本体や塗料など様々あるが、いいキット、いい塗料はぶっちゃけ手に入りにくいと思っている方が多いのではなかろうか。高級レストランに匹敵する味の

ものを作るなら、良い材料を揃えるのは当たり前。ただ、材料が手に入らないのでは意味がない。そんな状況が確かに、リアル女性フィギュア界では長く続いてきたのも事実だ。しかしリアル女性フィギュアのジャンルとしての盛り上がりのおかげか、そのような状況や先入観は払拭されつつある。

本書ではテーマとしていかに「手に入れやすいか」を掲げている。模型屋さんや量販店、通販で手に入るような(記事内で取り上げているのはハセガワやマックスファクトリーなどといった国内メーカー中心だ)美味しいフィギュアを、これまた国内で手に入りやすい美味しいマテリアルで仕上げる。膨大なリアル女性フィギュアの作品から、「手に入れやすい」を重視した記事を厳選して掲載した。どれも高級レストランに匹敵するレシピだが、都会で材料を買って来なければいけないわけではなく、近所のスーパーで事足りる……。そんなお手軽感をぜひ感じて欲しい。

技法もとっつきやすいものを中心に紹介。アーティストチックな桂剥きが必要……。とかではないので、ぜひどんどんマネしていただきたい内容となっている。リアル女性フィギュアならではの「実物に似せるにはどうしたらいい

2019年に発売した前作も好評発売中である。
「知っておきたい女性フィギュアのはじめかた」
税込2970円 大日本絵画／刊
前作ではフィギュアの初級、中級、上級別なども紹介
しているのでぜひチェックして欲しい。



のか」という議題もていねいに解説。リアル女性フィギュアのペインターが何を考えながら塗っているのか。その謎はこの後始まる対談記事から繙かれてゆくだろう。

そしてトリを飾るのは、フィギュア界の大ト口的存在のふたりだ。肌の質感や血管までもがしっかりと描き込まれたフィギュアを堪能して欲しい。いまは届かないけれども「いつかは俺も」と思わせてくれる、そんな超絶作例が掲載されている。ゆりかごから行き着くところまで、女性フィギュアを始めるには絶好の教科書となる。それがこの『知っておきたい女性フィギュアのはじめかた2』なのだ。

これを読んでいるそこのあなた。この本と出会った時点ですでにリアル女性フィギュアに興味があるのだろう。読めば塗ってみたいくなること間違いなしの本書。そのチャレンジ精神をそっと応援したい。

※本書のための新規製作フィギュアに加え、月刊アーモーマーモデリングに掲載された記事を再編集した作例もあります

製作／saruru
モデルカステン
1/12 女性兵士“サラ”



contents

- 006 女性フィギュア、いま塗らなくていつ塗るの？
- 010 女性フィギュアを作る前に知っておきたいマテリアル知恵袋
- 012 chapter01 筆塗りで楽しむ
PLAMAX Naked Angel 1/20 大槻ひびき
マックスファクトリー 1/20 インジェクションプラスチックキット 製作／Yoshimaru
- 024 Yoshimaru 流 Naked Angel の楽しみ方
- 030 chapter02 手を加えてより可愛く塗装する！
PLAMAX Naked Angel 1/20 あおいれな
マックスファクトリー 1/20 インジェクションプラスチックキット 製作／ゆこ
- 038 chapter03 実物に似せる その1
PLAMAX minimum factory 東雲うみ SIDE:B
マックスファクトリー 1/20 インジェクション プラスチックキット 製作／福田真也
- 044 chapter04 実物に似せる その2
PLAMAX minimum factory 東雲うみ
マックスファクトリー 1/20 インジェクションプラスチックキット 製作／福田真也
- 048 chapter05 実物に似せる その3
PLAMAX minimum factory 東雲うみ
マックスファクトリー 1/20 インジェクションプラスチックキット 製作／國谷忠伸
- 054 東雲うみちゃんを上手に塗るための実写資料
- 056 chapter06 実物に似せる その4
PLAMAX minimum factory 東雲うみ SIDE:B
マックスファクトリー 1/20 インジェクション プラスチックキット 製作／mamoru
- 058 chapter07 水彩絵の具での塗装
PLAMAX Naked Angel 1/20 AIKA
マックスファクトリー 1/20 インジェクションプラスチックキット 製作／mamoru
- 062 女性フィギュアをより身近な存在にしたハセガワガールズたち
- 064 chapter08 デイテールアップを楽しむ
12 リアルフィギュアコレクション No.40 “フロアレディ” ハセガワ 1/12 レジンキャストキット 製作／みの
- 070 chapter08 瞳デカールを使った仕上げ
12 たまごガールズ サーシャ・イリユースナ（ピキニ） ハセガワ 1/12 レジンキャストキット 製作／鍛冶屋

075 たまごガールズの楽しみ方

12 たまごガールズ No. 23 “羽澄 れい” (SF スーツ)

No. 28 “クレア フロスト” (SF スーツ)

No. 36 “エイミー マクドネル” (SF スーツ)

ハセガワ 1/12 レジンキャストキット 製作／saruru

076 製作から撮影までを楽しもう／saruru

080 女性フィギュアにおける 1/35 スケール

081 chapter09 塗装だけでかわいく!

1/35 ソビエト戦車兵 小休止セット タミヤ 1/35 インジェクションプラスチックキット 製作／太刀川カニオ

082 chapter10 ダイオラマで楽しむ

陸上自衛隊 120mm迫撃砲 RT w/ 重迫牽引車 ファインモールド 1/35 インジェクションプラスチックキット

ARTPLA 観光客とキリンセット 海洋堂 1/35 インジェクションプラスチックキット 製作／内藤あんも

085 1/35 スケール 女性フィギュアのオススメコレクション

086 chapter10 早塗りでモチベーションを保つ

MG ガールズ Vol.13 体セット モデルカستن 1/35 インジェクションプラスチックキット 製作／mamoru

090 匠の技 Vol.01 プラスチックのフィギュアを「本物の人間」に近づける魔法

1/24 キャンパス フレンズセット II タミヤインジェクションプラスチックキット 製作／青木桂一

093 匠の技 Vol.02 田川 弘の 1/12 スケールでもフィギュアに宿る魂とは

which-05 1/12 Which? 1/20 レジンキャストキット 製作／田川 弘

094 原型師「林 浩己」が手がけたフィギュアを塗ってみる

この第一歩は全フィギュアペインターに実践してほしい



Painting a Brush

CHAPTER

1

筆塗りで楽しむ

キリッと魅せるボンテージ風衣装とツンとした表情が魅力のプラスチックキット

筆塗りはエアブラシを用いた塗装よりも難易度が高いと感じる方は多い。しかし、準備や掃除、そして気持ちの面では圧倒的に「楽(ラク)」にはじめられる。フィギュアの筆塗りは楽しんだもの勝ちなのだ！

塗る人／Yoshimaru

兵庫県在住の筆塗りを楽しむフィギュアモデラー。ネイキッドエンジェルシリーズも精力的に製作。

PLAMAX
Naked Angel 1/20
大槻ひびき
マックスファクトリー
1/20 インジェクション
プラスチックキット
税込3080円

1/20

作業時間／短め

掃除や準備が楽

金額／お財布にやさしい

STEP.1 » 下ごしらえ

01



▲マックスファクトリーから出ているネイキッドエンジェルシリーズのフィギュアは、その種類の豊富さとユニークな分割などが魅力で、今なおシリーズ化され続けている。

02



▲成形の都合上、服と肌の境界線が見えづらくなっている。あらかじめ軽くケガいておくと塗装の際に楽になるのでひと手間加えておく。

03



▲反対側も同様のモールドになっているため、こちら側も境界をくっきりさせておく。作業は極細のラインスクレイパーを使用。

04



▲左腕を先に接着すると、塗装しながら合わせ目を消す手間がなくなる反面、腕のすき間の服が塗りにくくなってしまう。今回は筆が届きそうだったため、目立つ合わせ目は光硬化パテで埋めあらかじめ処理した。

05

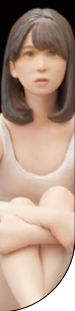


▲そのほかの部分も、塗装の取り回しを考慮しつつ先に接着できるところはしておき、合計4パーツにまでしておく。

06



▲サーフェイサーとして、ファレホのホワイトプライマースプレーをふわっと吹く。成形色を活かした塗装もできるが、キズを見つけにくい。



07



▲眉毛をタミヤエナメルフラットアースとレッドブラウンとクリアを混ぜて塗る。うすめ液で削り整えて形が決まったら、眉尻側が濃くなるように色を足していく。

08



▲タミヤエナメルフラットアースとレッドブラウン、クリアを混ぜて鼻の穴部分に色を乗せる。鼻の下側(付け根側)に塗ると大きく見えてしまうので少し上に描く。

09



▲粘膜クリアーとタミヤエナメルレッドブラウンを混ぜ唇中央の横線を描く。あどけない表情にしたかったので口角は上げずバランスを見てまっすぐに。

10



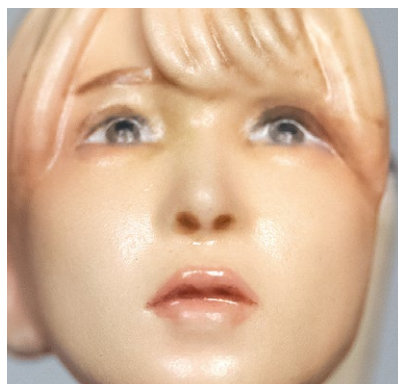
▲粘膜クリアーとタミヤエナメルホワイト、クリアを少量混ぜて唇の形に色を乗せていく。塗布後、うすめ液を筆に含み形を整えていく。

11



▲タミヤエナメルレッドブラウンとクリアを混ぜ、上唇の下側にM字に陰色を入れて立体感を出していく。

12



▲ここまでの工程を終えた状態を下側から見た写真。鼻の穴の位置や唇の陰の入り方がよく見えるだろう。

STEP.5 » 髪の毛

01



▲マスキングゾルで顔をマスキングしてからピンクサーフェイサーを吹く。肌と髪の毛の境目ギリギリではなく髪にかぶるくらいにマスキングするとよい。

02



▲タミヤエナメルフラットアースを、モールドの側面から吹きつける。深い部分にピンクの下地が少し残るくらいを目処にする。

03



▲タミヤエナメルフラットアースとブラックを混ぜてモールドの横から吹く。凸部分を暗い色、凹部分を明るい色にすることで透け感が出て軽い印象に。

04



▲引き続き上下のズレを確認する。デカールなので全体のズレが無ければ目線は必然的に合うはずだ。

05



▲ズレを修正しながら、さまざまな角度から貼り付けた具合をチェックしていく。

06



▲デカールの最終位置決定は、前髪を付けてみて違和感が無いかどうかを確認してからにする。

07



▲目線の違うほかのデカールも試していく。これは目尻を上げてキリッとした表情に配置したもの。

08



▲同じデカールを用い、目尻を下げて柔らかな表情にしたバージョン。

09



▲とくに眉の変化は如実に感情を表す。デカールの目と眉の部分とを切り離せば、さまざまな表情を作り出すことができる。

10



▲切り離した眉をハの字にすると表情は一転し、困り顔にもなる。

11



▲公式のイラストやパッケージを参考に、キャラクターのイメージに近付ける。

01



▲つや消しクリアーを吹き付けてから、パステルでチークを入れる。ツルツルの表面だとパステルがのらない。最後につや消しクリアーでパステルを保護する。

STEP.4 » お化粧



Essential
knowledge
and skills of
creating
Scale
Female figure.

ISBN978-4-499-23423-8 C0076 ¥3000E

定価 (本体3,000円+税)



9784499234238



1920076030000